

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

NO. 250

TOPICS

「儲けるとは」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 伴 一郎
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2014」

「広報PRアカデミー2014」年間プログラムまとまる」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2014」

4月22日～24日、「広報・PR基礎講座2014」を開講」

ATTENTION P7

「PRプランナー資格認定検定試験に対応した

完全オンデマンドWeb受講の「2次試験対応講座」を開講」

ATTENTION P8

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

3月号 目次

3月～4月のスケジュール	—	1
MESSAGE(メッセージ)	「儲けるとは」	— 3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2014 年間プログラムまとまる」	— 4
〃	「広報PRアカデミー2014 4月22日～24日 「広報・PR基礎講座2014」を開講」	— 7
〃	「広報PRアカデミー2014 完全オンデマンドWeb受講の「2次試験対応講座」を開講」	— 8
BULLETIN(活動報告)	「広報PRアカデミー2013 「ブランド・コミュニケーション講座」を終了」	— 11
〃	「広報PRアカデミー2013 「PRプランナー1次試験対応講座」が終了」	— 12
〃	「第13回プランナー資格検定3次試験結果発表 合格率は77.2%」	— 13
〃	「新春PRフォーラム 開催報告」	— 14
VOICE of PR Planner	「広報手腕を磨いて記憶に残る広報に！」	— 15
PR TREND(PRトレンド(関西))	「関西の風：パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館」	— 17
協会掲載記事	「PRSJ in Media 2月」	— 18

3月～4月スケジュール

第14回PRプランナー資格認定 検定1次試験	日時 : 3月2日(日) 10:20～12:00 会場 : 明治大学 駿河台キャンパスリバティタワー(東京) 毎日インテシオ(大阪) AQUA博多(福岡)
第15回広報ゼミ(企業部会)	日時 : 3月7日(金) 16:00～ 会場 : (株)ミツカングループ本社 テーマ :
広報PRアカデミー2013 「広報・PRプロジェクト 優秀事例セミナー」	日時 : 3月12日(水) 18:30～20:30 会場 : AP浜松町
異文化勉強会 「在日カナダ大使館訪問」	日時 : 3月14日(金) 12:00～14:00 会場 : 在日カナダ大使館
PRパーソン ミーティング 2014 (PR業部会)	日時 : 3月19日(水) 17:00～19:00 会場 : (株)アサツー ディ・ケイ 11F ラウンジ 講師 : (株)博報堂ケトル 代表取締役社長 嶋浩一郎氏 (株)電通パブリックリレーションズ チーフPRプランナー 井口 理氏 テーマ : 「フロントランナーに聞く! これからのPRはどうなる？」
第155回定例研究会	日時 : 3月25日(火) 12:00～ 会場 : 日本外国特派員協会(FCCJ) 講師 : 共同通信社 編集委員 渡部道雄氏 テーマ : 「記者の目から見た企業不祥事・経営危機～企業の社会的責任とは？」
広報PRアカデミー2013 「プロフェッショナル広報・PR実務 シリーズ」	日時 : 3月27日(木) 19:00～21:00 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講師 : 東海大学 経営学部 経営学科 教授 小野豊和氏 テーマ : 「グローバル・コミュニケーション講座」
第10回広報活動研究会 (企業部会)	日時 : 4月9日(木) 15:00～ 会場 : キッコーマン(株) 野田工場
広報PRアカデミー2014 「広報・PR基礎講座 2014」	日時 : 4月22日(火)・23日(水)・24日(木) 9:00～ 会場 : AP浜松町
第42回親睦ゴルフ会	日時 : 4月24日(木) 9:01～ 会場 : レインボーカントリー倶楽部

予 告

通常総会開催

日時 : 2014年6月4日(水)
通常総会 17:00～(予定) / 懇親パーティ 18:30～(予定)

会場 : グランドハイアット東京 2F
通常総会 「アニス」
懇親パーティ 「バジル」

3月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（3月度）	日 時	：	3 月 11 日(火)	12:00～14:00
	場 所	：	六本木ヒルズクラブ	
幹部会（経営会議）（3月度）	日 時	：	3 月 11 日(火)	10:30～11:45
	場 所	：	協会会議室	
教育委員会（3月度）	日 時	：	3 月 20 日(木)	16:00～17:30
	場 所	：	協会会議室	
資格委員会（3月度）	日 時	：	3 月 27 日(木)	12:00～14:00
	場 所	：	協会会議室	
交流委員会（3月度）	日 時	：	3 月 20 日(木)	12:00～14:00
	場 所	：	協会会議室	
広報委員会				
PR小委員会(3月度)	日 時	：	3 月 3 日(月)	12:00～14:00
	場 所	：	協会会議室	
出版小委員会(3月度)	日 時	：	3 月 6 日(木)	16:00～18:00
	場 所	：	協会会議室	
企業部会幹事会（3月度）	日 時	：	3 月 14 日(金)	17:00～18:00
	場 所	：	協会会議室	
PR業部会幹事会（3月度）	日 時	：	3 月 13 日(木)	16:00～18:00
	場 所	：	協会会議室	

儲けるとは

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 伴 一郎

親や仕事、人間関係などに対する不平、不足。職場が非正規雇用で安定していない精神的な不安。自分の思い通りにはならない。なにか満たされない混沌とした社会。細分化されて見えてこないネット社会。また、それについていけない人、ついていける人、その先を行っている人。常に差が出る。他人との比較をし、自分の立ち位置を心配しすぎて、人と会うのがおっくう、希望がもてない、先が見えないと、多くの引きこもり、うつといった社会問題も周知のとおりです。

時計の針を少し戻してみましょう。平成に入り完全にバブルがはじけ、デフレスパイラルに陥った。そして始まったIT革命、デジタルの時代が幕開け始まる。世界は24時間働きつづけ、コンビニが増え、企業はかつてないスピードで働かざるをえなくなりました。長期の円安に伴い、終身雇用制や年功序列のシステムが崩壊、名のある企業が倒産や経営危機に見舞われ、その場しのぎのリストラが横行。人々は常に不安や心配をし、夢や希望といったものが見えない閉塞感に、多くの人が陥っています。

日本全国の高級といわれるホテルやレストランの食材偽装問題。多くの経営者や従業員が「知りませんでした」と異口同音に会見する姿を見ると、そこには人間らしいカケラも見えてこない気がします。お客をだましてまでも利益が出るようにする。バレなかったら何をしても良いといったことになる。たとえ法に触れなくても、商道德の目から見たらどうなるのか。

儲けることだけが企業の至上命令になると、ついていけない人達が多く出てくる。儲けるとは、「信」じる「者」と書いて「儲」けるという字になる。利潤と道徳を調和させる少し昔まで言われていた商道德の基本です。ここに大阪で開花した企業家の言葉がある。「商売人はいかなることがあっても、うそは言わぬこと」(伊藤忠兵衛「伊藤忠商事(株)」の教え)。

大阪には桜の通り抜けで有名な造幣局(旧造幣省)があります。明治の初めに名づけられたお金を造るところですが、世界中のお金で貨幣、紙幣といったお供え物の呼び名がつく。御幣の幣がつくところは日本しかありません。良い言い方だと思います。

造幣 → 御幣を造るところ、つまり、勤労のおかげで幣がいただける。またそれをお供えさせていただく心が大切といった声が聞こえてくるようで、ビジネスの仕方、考え方を今一度見つめ直す時期に来ているかもしれません。

広報PRアカデミー2014

「広報PRアカデミー2014」年間プログラムまとまる --PRプランナー向けに専門研修を強化--

教育委員会

教育委員会では、当協会が提供する2014年度の研修プログラム「広報PRアカデミー2014」3課程（コース）15講座を4月より開講します。第一弾として、新任の広報実務者を対象とする「広報・PR基礎講座2014」を4月22日から26日まで、東京・港区の「AP浜松町」にて開講いたします。

「広報PRアカデミー2014」は、好評を博した2013年度の講座をより充実させ、研修効果の高いプログラムとして計画されています。特に、PRSJ認定PRプランナーの専門教育面における支援をめざす「PRプランナーフォーラム」を本格的にプログラムに加え、さらにデジタル時代に対応しコンテンツの開発、活用をテーマとする講座を加えるなど「広報・PR実務スキルアップシリーズ」の充実をはかります。各講座はいずれも経験豊富なベテラン講師が担当し、受講者は広報・PR業務の遂行に必要な知識や実務スキルを習得することができます。

■コース編成について

「広報PRアカデミー2013」は、以下の3課程（コース）で構成されます。

（1）「基礎課程」

比較的経験の浅い広報・PRの新任者、広報・PRについて基礎から学びたい方を主な対象とし、実務に必要な基本的な知識や実務スキルの習得を目的とする。

（2）「専門・応用課程」

業務に一定の経験を有する広報・PR関係者を対象とし、専門性の高い講義やグループワークなどの演習を通じて広報・PRに関する高度な知識や実務スキルの習得を目的とする。



（3）「PRプランナー試験対応コース」

「PRプランナー認定資格」の取得を目的に、講義や演習を通じて合格に必要な知識やスキルの習得をめざすコース。

■受講申込の受付について

各講座の開講1～2か月前に募集開始し、下記ホームページで詳細の案内と受付を行います。講師や料金については、講座の受講募集時にご案内させていただきます。

なお、講座の内容については変更となることがありますので、お申込み前に必ずご確認くださいようお願いいたします。

広報PRアカデミーWebサイト

<http://event.prsj.or.jp/event>

■「広報PRアカデミー2014」コースと講座

「広報PRアカデミー2013」は、3コース15講座で構成されます。各コースの講座概要については以下をご参照ください。

●基礎課程

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
広報・PR基礎講座	企業、PR会社等における新入社あるいは新任の比較的经验の浅い広報・PR実務者等を対象に、業務に必要な基本的な知識、スキルを3日間で集中的に習得する。	4月22日 ～24日	全日/3日	60名

●専門・応用課程

[事例セミナー]

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
広報・PRプロジェクト 優秀事例セミナー	「PRアワード 2014」のグランプリ、各部門の最優秀賞を紹介し、プロジェクトにおける企画アイデアや推進の考え方について学ぶ。	2015年3月	夜間 150分	120名

[広報・PRスキルアップ・シリーズ 2014]

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
ニュースリリース 活用講座	ニュースリリースの概念や基本的な作成法、メディアの種別や特性を学び、ネットとも連動する広報ツールとしてニュースリリースの効果的な活用法を講義と演習を通じて習得する。	9～10月	午後 各 240分	各 60名
マーケティングPR 活用講座	広報・PR実務で活用できるマーケティングPRの基礎的な知識や手法について講義と演習を通じて習得する。			
コンテンツ活用PR 講座＜仮題＞	デジタル時代の深まりのなかでコンテンツの開発とそのフルにより効果を上げるPR手法について講義と演習を通じて習得する。			

[PRプランナー・フォーラム 2014]

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
PRプランナーフォーラム(秋期)	PRプランナー資格取得者を対象に、高いレベルにおける広報・PR業務の遂行求められる専門的な内容について研修する。	9月	夜間 120分	100名
PRプランナーフォーラム(冬期)		2015年2月		

【プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ 2014】

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
コーポレート・コミュニケーション講座	企業広報の基本となるコーポレート・コミュニケーションの概念や実際に企業の実例等を交えて学び、広報戦略や計画の立案のポイントについて習得する。	11 月	夜間 120 分	各 40 名
クライシス・コミュニケーション講座	不祥事や事故、ネットにおける炎上や情報漏洩など、組織体における危機の原因、対応における成功や失敗について具体的な実例を通じて解説し、広報・PR担当者が備えるべき心構えや対応のポイントについてグループワークをととして習得する。	12 月	夜間 各 240 分	
CSRコミュニケーション講座	企業価値の向上に不可欠となっているCSRの企業経営における位置付けや重要性を理解し、先進企業のケーススタディをととして企業をとりまくステークホルダーへのコミュニケーションのポイントを習得する。	2015 年 1 月	夜間 各 120 分	
ブランド・コミュニケーション講座	ブランドの基礎概念や考え方を学び、グループワークをととしてブランド構築に向けたコミュニケーション計画の立案や活動のポイントを習得する。	2015 年 2 月	夜間 各 240 分	
グローバル・コミュニケーション講座	グローバルにグループ展開している日本企業が行うコミュニケーション活動について、多様なケーススタディを通じてその戦略立案や計画推進のポイントを学ぶ。	2015 年 3 月	夜間 各 120 分	

●PRプランナー養成コース 2014

講座名	講座概要	開催時期	期間/回数	定員
1 次試験対応講座	実際に過去の 1 次試験に出題された問題による模擬試験と、その解答に関して解説する試験対策の実践講座。	7 月、1 月	夜間 150 分 全 4 回	40 名
2 次試験対応講座	2次試験の合格に向けて受験に必要な科目のポイントについて履修する。インターネットを活用したオンデマンドの試験対策のWeb講座。	通期	1 講座 20～40 分	—
3 次試験対応講座	3次試験の合格を目的に、ニュースリリース、広報・PR計画の立案作成(マーケティング及びコーポレート)の 3 テーマについて、講義と演習を通じて知識とスキルを習得する試験対策の実践講座。	6 月、12 月	夜間 150 分 全 6 回	40 名

広報PRアカデミー2014

4月22日～24日、「広報・PR基礎講座 2014」を開講

教育委員会

協会では、「広報PRアカデミー2014」の第一弾として、4月22日（火）、23日（水）、24日（木）の3日間、「広報・PR基礎講座 2014」を東京・港区の「A P 浜松町」にて開講いたします。

本講座は、新入社、新任や異動により広報・PRの業務につく比較的経験の浅い広報・PR実務者等を対象とし、実務に必要な基礎的な知識や実務スキルを習得する研修講座です。洗練された講座内容を通じて、受講者は広報・PRの基本を3日間で集中的に身に付けることができます。特に今年度は広報・PRの実務者から関心の高い危機管理広報についての講義を加えており、受講者はその基本を学ぶことができます。

講師には、広報・PRの現場で活躍する広報・PR実務の専門家、企現役広報マネージャー、弁護士が担当し、専門と経験を生かした講義を行っていただきます。

本講座は、広報PRアカデミーのWebサイト（以下URL）で受講申込みを受付けます。

URL : <http://event.prs.j.or.jp/event>

■講座概要

日程	時間	講座テーマ	講師
4月22日 （火）	8:45～ 9:00	ご挨拶/講座ガイダンス	日本PR協会
	9:00～ 10:30	パブリックリレーションズ概論	花上憲司氏 （㈱電通パブリックリレーションズ）
	10:40～ 12:10	企業広報入門	大手企業広報部長を予定
	13:20～ 14:50	広報・PRパーソンに求められる心構えと コミュニケーション・スキル	石橋真知子氏 （エートゥーゼットネットワーク）
	15:00～ 16:30	PR会社の役割と仕事の実際	木村茂樹氏 （㈱フルハウス）
	16:40～ 18:10	危機管理広報入門	井澤幹夫氏 （井澤リスクマネジメント事務所）
4月23日 （水）	9:00～ 10:30	マーケティングとブランドの基礎とコミュニケーション	定方秀樹氏 （㈱インテグレート）
	10:40～ 12:10	社内広報の役割と実際	花上憲司氏 （㈱電通パブリックリレーションズ）
	13:20～ 14:20	広報・PRと倫理・法規・CSR	中村勝彦氏 TMI 総合法律事務所
	14:30～ 18:00	ニュースリリースの基本と作成 （講義と演習）	青田浩治氏 （㈱共同通信 PRワイヤー）
4月24日 （木）	9:00～ 10:30	マスメディアの特性とアプローチの進め方	田代 順氏 （㈱ミラ・ソル）
	10:40～ 12:10	広報・PRにおけるインターネット活用のポイント	細川一成氏 （㈱電通パブリックリレーションズ）
	13:20～ 17:50	メディアリレーションズの基礎と実践 （講義と演習）	五十嵐 寛氏 （㈱ハーバーコミュニケーションズ）

■受講費用

（単位：円、消費税込み）

	3日間一括受講	一日受講
日本PR協会会員	54,000	21,600
PRプランナー（准・補）	70,200	28,080
一般	81,000	32,400

— 広報PRアカデミー2014 —

PRプランナー資格認定検定試験 2 次試験に対応した 完全オンデマンドWeb受講の 「2 次試験対応講座」を開講

— 教 育 委 員 会 —

PRプランナー2次試験受験者を対象とした新たな講座として、完全オンデマンドWeb受講の「PRプランナー2次試験対応講座」を開講しました。

「2次試験対応講座」は、当協会が主催するPRプランナー資格認定検定試験2次試験に試験範囲となる「科目A（CSR、IR、危機管理等、経営と広報・PRに関する知識）」、「科目B（マーケティング及びブランド・マネジメントに関する知識）」、「科目C（広報・PR実務に関する知識）」、「科目D（時事知識）」について、1講座約30分（平均）で全14章にわたり、重要項目、および参考問題とその解説を交え、ポイントを履修します。

科目Dについては、試験問題の出題範囲を解説し、これからの試験に活用できる試験の出題傾向を習得します。

各講座はいずれも経験豊富なベテラン講師が担当し、受講者は2次試験合格に必要な知識や実務スキルの確実な習得が可能です。また、「2次試験対応講座」は、Web受講により、遠隔地に居住の方、毎日の業務等でご多忙な方にも、自宅のPCなどから、ご自身の都合にあわせ講座を聴講し、受験の準備を行うことができます。

企業・団体の広報・PR部門、PR会社及びPR関係会社の皆様には、メンバーの専門的能力の向上に向けて、本講座をご活用いただきますようご案内申し上げます



■ 講座一覧

【科目A — CSR、IR、危機管理等、経営と広報・PRに関する知識】

- 第1章 企業（組織体）経営と環境変化（講座時間：25分24秒）
講師：日本電信電話株式会社 坂本 英一氏
- 第2章 CSRと実際（講座時間：28分31秒）
講師：株式会社電通パブリックリレーションズ 大川 陽子氏
- 第3章 IR：投資家向け広報（Investor Relations）（講座時間：28分32秒）
講師：株式会社エイレックス 江良 嘉則氏
- 第4章 危機管理と広報・PR（講座時間：41分08秒）
講師：株式会社エイレックス 平野 日出木氏

【科目B — マーケティング及びブランド・マネジメントに関する知識】

- 第5章 マーケティングの概論（講座時間：23分25秒）
講師：株式会社博報堂 小林 由夏氏
- 第6章 市場調査・市場分析の基礎知識（講座時間：19分08秒）
講師：株式会社博報堂 小林 由夏氏

第7章 ブランド戦略とブランド・マネジメント（講座時間：27分35秒）

講師：株式会社博報堂 上木原 弘修氏

第8章 ブランド戦略とブランド・コミュニケーションの実際（講座時間：23分27秒）

講師：株式会社博報堂 上木原 弘修氏

【科目C ― 広報・PR実務に関する知識】

第9章 メディアリレーションズ（講座時間：46分00秒）

講師：株式会社ミラ・ソル 田代 順氏

第10章 広報・PRツールの企画と制作／広報・PRイベントの企画と実際
（講座時間：1時間08分12秒）

講師：株式会社ミラ・ソル 田代 順氏

第11章 ネットPR遂行に求められる実務知識（講座時間：23分11秒）

講師：クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 雨宮 和弘氏

第12章 広報・PR関連調査実務に必要な知識（講座時間：20分07秒）

講師：株式会社博報堂 小林 由夏氏

第13章 広報・PR戦略立案の実務知識（講座時間：32分59秒）

講師：株式会社ミラ・ソル 田代 順氏

【科目D ― 時事知識】

第14章 時事問題対策（講座時間：29分12秒）

講師：明治学院大学特命教授、メディアと広報研究所 尾関 謙一郎氏

■受講料

・1講座受講

一般、学生、日本PR協会会員社員ともに 4,200円

（受講料4,000円＋消費税200円）

※2014年4月1日以降： 4,320円（受講料4,000円＋消費税320円）

・全14講座受講

一般、学生、日本PR協会会員社員ともに 42,000円

（受講料40,000円＋消費税2,000円）

※2014年4月1日以降： 43,200円（受講料40,000円＋消費税3,200円）

・アカデミーパック（全14講座受講）

52,500円（受講料50,000円＋消費税2,500円）

※2014年4月1日以降： 54,000円（受講料50,000円＋消費税4,000円）

※ 2014年4月1日以降にお申込みされた場合、消費税増税により上記受講料の金額が変更となりますので、予めご了承ください。

※ 「アカデミーパック」のアカウント数は1つとなります。

※ 「アカデミーパック」は、国、地方公共団体および学校法人が設置した学校（教育基本法第6条1、学校教育基本法第2条1、私立学校法第3条）で教育を実施している教職員の方のみが対象となります。

■視聴期間

・1講座受講

視聴用のURL、ID・パスワード通知後 4週間

・全14講座受講

視聴用のURL、ID・パスワード通知後 8週間

- ・アカデミーパック（全 14 講座受講）
視聴用の URL、ID・パスワード通知後 8 週間

※ 視聴用の URL、ID・パスワードは、受講料のご入金確認後、事務局からメールにてご連絡いたします。

■ 講座詳細／お申込み：

- ・お申込みは、当協会「セミナー／イベント Web サイト」より「PRプランナー試験対応講座」内、「PRプランナー2 次試験対応講座」にある「受講申込フォーム」にご入力いただきます。
- ・「受講申込フォーム」にご入力いただきますと、1 週間以内に請求書をご指定の住所へ発送いたします。
- ・視聴用の URL、ID・パスワードは、「受講申込フォーム」にご入力後 1 週間以内に、事務局からメールにてご連絡いたします。

「PRプランナー2 次試験対応講座」
http://event.prsj.or.jp/prp/2nd_201402

広報PRアカデミー2013

「ブランド・コミュニケーション講座」を終了
―「コンセプトブランディング」に受講者が注目―

教育委員会

2月26日、協会では、「プロフェッショナル広報・実務シリーズ」第4回となる「ブランド・コミュニケーション講座」を六本木アカデミーヒルズにて開講しました。

講師には、ブランドや広告、マーケティング研究に造詣の深い中央大学ビジネススクール/大学院戦略経営研究科教授の田中 洋氏を迎え、「コンセプトブランディング」をテーマに講義と演習を交え熱のこもった4時間の講座となりました。

本講座のテーマである「コンセプトブランディング」とは、ブランド化の対象となる製品やサービス等を直接的なコミュニケーション素材とするのではなく、関連したカテゴリーや用語、価値に関する認知を深めるコミュニケーションを通じて当該の製品やサービスのブランド化を推進する戦略的なアプローチです。消費者の価値観が多様化しメディア環境が'90年代から大きく変容した今、莫大な広告宣伝費の投入に代表される従来の手法に代わる効果的なブランド・コミュニケーションのアプローチとして、田中教授が提唱する新たな手法です。



講座では、「コンセプトブランディング」の定義や概念、特徴とともに、プランニングへの適用法について丁寧な解説が行われました。続いて、「遠近両用コンタクトレンズ」の市場拡大を題材としたグループ演習を実施、「コンセプトブランディング」のアプローチにもとづくブランド化の計画の作成がグループメンバーの討論を通じて行なわれました。演習の最後には各グループよりの発表が行われました。受講者同士の議論も活発に展開され、最後には田中教授の講評により和やかな雰囲気の中で講座は締めくくられました。本講座を通じて受講者は「コンセプトブランディング」の考え方を習得しており、今後、それぞれの業務における活用が期待されます。



今期の「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」もあますところ1回となりました。最後の講座は、3月27日に東海大学経営学部の小野豊和教授を迎え、「グループ内におけるグローバル・コミュニケーション戦略」をテーマに開講します。

講座の詳細ならびに受講申込みについては、協会Webサイト「広報PRアカデミー2013」の「グローバル・コミュニケーション講座」のページ（下記URL）をご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2013/pro-global>

広報PRアカデミー2013

「PRプランナー1次試験対応講座(冬期)」が終了

— 会場、Webあわせて最多の 58 名が受講 —

教育委員会

協会では1月28日から2月18日まで4回にわたり六本木アカデミーヒルズにおいて、「PRプランナー1次試験対応講座」を開講しました。3月2日に実施された「第14回 PRプランナー1次試験」の合格をめざす受講者が集う今回の講座には、会場受講、Web受講あわせて従来最多となる58名が参加、昨今のPRプランナー資格の人気の高まりを感じさせられました。



毎年、冬期と夏期に開講している1次試験対応講座では、過去の試験に出題された問題を使用した模擬試験が行われます。模擬試験では実際に行われる試験の半分となる25の問題を40分で回答し、その後、解答とともに試験の対象となる各領域について講師より解説が行われます。受講者は、1次試験問題の形式や解答時間の配分について、体験を通じて習得することができるなど、本講座は合格に向けた実践的な内容を特色としています。なお、今回の「1次試験対応講座」の講師は、APCO Worldwide シニア・ディレクター 永井昌代氏、当協会事務局の真部一善が担当、模擬試験終了後の解説を担当しました。



3月2日、第14回1次試験が東京、大阪、福岡の3都市で実施され、約500名の受験者が試験問題に挑戦しました。今回の試験でも受講者から多数の合格が期待されています。

なお、次回の1次試験対応講座は7月に開講の予定です。募集詳細の公開ならびに受講受付は、6月頃より日本PR協会のWebサイトにて行います。

第 13 回PRプランナー資格検定 3 次試験結果発表 合格率は 77.2%

資格委員会

1月24日（土）に富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター（東京会場）において第13回PRプランナー資格検定3次試験が行われ、183名の受験申込者のうち171名の方（出席率93.4%）が受験されました。

ご協力いただきました関係者および関係各位の皆様、大変ありがとうございました。

今回の3次試験におけるニュースリリース課題は、世界最軽量、業界最安価の電子書籍リーダーが新発売するという内容でした。

また、広報・PR計画の立案作成におけるコーポレート課題は、全国でホテルやレストランを運営する企業が、自社調査の結果メニューと異なる食材を使用していたことが発覚。それについての当面の広報・PR計画を策定するものでした。

マーケティング課題は、複数の市町村と、商工会議所、観光協会等によって構成される地域振興協議会が県の補助金を活用し、地域おこしと観光を一体化させたPRキャンペーン計画を立案作成という内容でした。

厳正な判定の結果、132名が合格（合格率77.2%）となり、2月21日に発表となりました。

合格された方は、3月に実施されます「2013年度後期 第13回PRプランナー」の書類審査を経た後、新たにPRプランナーとして認定となります。仮に、全員が認定されれば、PRプランナー登録者数は1,667名となります。

なお、今回の受験者はおよび合格者の受験者プロフィールは次の通りです。



<第13回3次試験 業種別／年代別合格率>

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	その他	全体
男性	受験者	27名	38名	4名	6名	2名	6名	6名	89名
	合格者	18名	26名	4名	6名	0名	6名	6名	66名
女性	受験者	23名	37名	5名	3名	5名	3名	6名	82名
	合格者	18名	30名	3名	3名	5名	3名	4名	66名
全体	受験者 (全体比)	50名 (31.2%)	75名 (43.9%)	9名 (5.3%)	9名 (5.3%)	7名 (4.1%)	9名 (5.3%)	12名 (7.0%)	171名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	36名 (27.3%)	56名 (42.4%)	7名 (5.3%)	9名 (6.8%)	5名 (3.8%)	9名 (6.8%)	10名 (7.6%)	132名 (100.0%)
	合格率	72.0%	74.7%	77.8%	100.0%	71.4%	100.0%	83.3%	77.2%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	14名	37名	38名	89名
	合格者	11名	27名	28名	66名
女性	受験者	22名	45名	15名	82名
	合格者	15名	38名	13名	66名
全体	受験者 (全体比)	36名 (21.1%)	82名 (48.0%)	53名 (31.0%)	171名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	26名 (19.7%)	65名 (49.2%)	41名 (31.1%)	132名 (100.0%)
	合格率	72.2%	79.3%	77.4%	77.2%

受験者	合格者	合格率
171名	132名	77.2%

※第1回～13回まで累計は、資格制度ホームページより、資格認定制度について＞過去の合格率（3次試験）（http://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_3rd_exam）をご参照ください。

新春PRフェスタ 2014 「第5回新春PRフォーラム」

新春特別講演

「2014 年の日本経済と成長戦略」

講師 政策研究大学院大学 教授
大田 弘子 氏

新春PRフェスタ 2014「第5回新春PRフォーラム」を2014年1月21日（火）開催しました。

今年度は政策研究大学院の大田弘子教授を講師にお招きし、「2014年の日本経済と成長戦略」と題してご講演いただきました。



講演では2014年の日本経済・世界経済の展望と今後とるべき政策についてわかりやすく解説をいただきました。講演後の質疑応答では参加者から活発な質問が寄せられるなど、協会会員の皆さまの関心の高さが改めて認識されました。

なお、今回の講演レポートは大田教授のご都合により、掲載を見送らせていただくことになりましたので、ご了承のほどお願い申し上げます。



広報手腕を磨いて記憶に残る広報に！

株式会社パナホーム
古矢 直美

（はじめに）

プランタン銀座の飯塚さんより、バトンを受け取りましたパナホームの古矢です。飯塚さんより“優しい笑みを湛えながらお酒を飲むクールなお姿”と紹介をいただきましたが、本当は口下手で、お話が上手な皆さまの話を聞き逃すまいと静かにお酒を飲んでいるだけです。そんな口下手な私が、広報活動を行うなんて、とてもおこがましいのですが、約3年前に三洋電機がパナソニックの子会社になった折、パナホームという住宅会社へ出向を命ぜられ、以来、広報を担当しております。

（PRプランナー資格を取得した経緯）

それまでの20数年は、電機製品のプロモーションやマーケティング業務が中心で、広報については、“華やかな部署”という印象程度で、何も知りませんでした。しかしながら、いざ配属されてみると地味な作業も多く、それでいてスピードと正確さが求められる難しい職種であることが分かりました。

異動して約半年間、全く業種の異なる会社から来た自分にとっては、初めての事ばかり。新入社員に戻ったような無力感に襲われ、なかばさがるような思いで受けたのがPRプランナーの資格でした。1・2次試験は、参考書と過去問題でなんとか切り抜けたものの、3次試験の実技では、リリース作成に時間を取られ、広報プランはおざなり、という状態で、見事に不合格となりました。これをきっかけに、PRプランナー3次試験対策講座を受講しました。そこではリリースの書き方や広報プランの作成の仕方について実技を交えながら、教わりました。そこでようやく、プロモーションとPR（広報）の違いを実感した次第です。その後、3次試験に合格し、現在に至っております。

（PRプランナーの魅力）

PRプランナーになって一番良かったことは、魅力的な広報パーソンの方々との接点が増えたことです。対策講座で知り合った同期のPRプランナーの方々との定期的な会合は、いまでは欠かせない息抜きの場であり、刺激をもらう場となっています。また、PRプランナーの皆さまはとて研究熱心。様々な場で勉強会が開催されています。そうした場に参加させて頂くことで、これまでの活動では知り得なかった学びや気づきを与えて頂いています。

（広報パーソンとして今後の抱負）

現在の業務においては、住宅購入検討者はもとより、潜在顧客のお客さま、株主へのブランディングを主目的に、月に約1度のペースでメディア向けの発表会を企画し、月に2本程度のリリースを書いています。当初は業界紙中心の活動だったものが、徐々に一般紙、雑誌、テレビと対象が広がってきました。

活動範囲を広げるにあたり、心がけているのは情報の受け手のニーズに合わせた形で発信を行うことです。とはいえ、まだまだ相手の質問の意図を汲みきれずに、記者の方に叱られることも（涙）。最終目標はメディア別にリリースを作り分けて、きめ細かな発信を行うことですが、まだまだ到達できそうにはありません。まずは、丁寧に相手の言葉に耳を傾け、的確に回答していく、このような技術を磨き、“あの広報に話を聞いてみよう”と記者の方の記憶に残るようになりたいと思っています。

（最後に）

今後もPRプランナーの皆さまとともに、切磋琢磨しながら広報手腕を磨き、PRプランナー資格そのものの価値が上がっていくことを心より望んでおります。

大切なバトンは、同期のPRプランナーであり、誠実に仕事をこなし、中国語も堪能。私生活ではボランティア活動にも取り組む多才な女性広報パーソン、イクスピアリの鈴木雅子さんに繋がります。商業施設の広報ならではのご苦労や取り組みについて、ご紹介いただけることを楽しみにしております。

<コラム 関西の風>

パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館**パナソニック株式会社****ブランドコミュニケーション本部****広報グループ 大阪メディア担当室
三原 誠**

京阪電車の西三荘駅を下車し、大阪方面に向かって線路沿いに5分ほど歩くと、当社の創業者・松下幸之助の歩みを知る「歴史館」がある。ここは、当社創業50周年(1968年)を記念して作られ、創業の地の福島区大開町から門真に移転した1933年の本店社屋をそのまま復元・再現している。2011年10月にNHKの「神様の女房」で当時の本店(本社)として放映された場所でもある。

日曜日・祝日以外、土曜日も含む午前9時から午後5時まで一般の方にも開館している。入場料は無料、駐車スペースもある。

ここには、「創業の家」(創業期の作業場を復元したもの。当時アタッチメントプラグなどをつくるのに使用していた釜や足踏み機、型押機などの実物を展示)や幸之助の生涯を時系列に紹介するコーナーもあるが、個人的に気に入っているものが2つある。

ひとつは、「モノづくりの歩み」のコーナー。ラジオ、テレビ、洗濯機、ビデオレコーダーの当社1号機の実物を見る事が出来る。一消費者の目線で、「こんな商品あった、なつかしいな」と素直に見られるし、発売年を見ながら自分史散歩も出来る。

もうひとつは、当時の幸之助の当時の肉声や動画を聞いたり、見たりする事が出来る点である。幸之助の書籍は数多く出版されているが、肉声で見聞きすると、文字に表れない当時の雰囲気や思いが伝わってくる。1932年(昭和7年)のラジオの特許の無償公開、1933年(昭和8年)の事業部制導入、1935年(昭和10年)の貿易部設置、1936年(昭和11年)の週休2日制実施など、当時としては時代を先取りした施策を次々に世に問うていった経営者だったことに改めて感心する。当社は「伝統的日本企業」と言われることが多いが、寧ろ「先進的な取組みをしてきた企業」だったと感じる。

松下幸之助歴史館では年1、2回「特別展」が催される。このコラムが掲載される頃には終了しているが、直近の内容は「商いの心 一商人たりの観念を忘れず」という企画。「一商人」の意味を正しく理解することはなかなか難しいが、私自身、今の広報という仕事の中で「お客様(世間)と対話し、次に活かす」という商人として当然行う「双方向コミュニケーション」が出来ているのか、「発信だけの一方通行」になっていないか、そんな事を改めて気づかせてくれた。

ちなみに今年は幸之助の生誕120年、没後25年にあたる。松下幸之助歴史館のホームページアドレスは、<http://panasonic.co.jp/history/museum/>

大阪にお越しの際は、ぜひ一度ご来館下さい。

PRSJ in Media

●2月1日（土）『月刊広報会議』3月号

『月刊広報会議』3月号における連載コラムで、当協会が主催した「2013年度日本PR大賞」が掲載されました。

記事は、大賞を構成する「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」のそれぞれについて受賞者と授賞理由を紹介する内容です。

「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」では佐藤真海氏のプロフィールとアスリートとしての社会的活動について、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」ではNPO法人本屋大賞実行委員会の活動と国民的支持を獲得している本屋大賞の意義が示されてされています。

編集担当より

会員みなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載